

やすらぎ

No.120 令和6年1月25日発行

広報



年頭のごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、当やすらぎ会の運営にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。皆様のお力添えにより無事新年を迎えることが出来ました。この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、昨年暮れに 2050 年までの将来推計人口の発表がありました。それによると、西和賀町は 1,940 人まで減少と推計されており、65 歳以上の人口は 1,166 人で高齢化率 60%に達するとした内容。10 年先となる 2035 年の推計人口は、3,234 人と現在より 1,600 人ほど減少とのこと。少子化に加え人口減少が進む中で、介護ニーズも在宅から施設へと大きく変化していくものと想定されます。

この 4 月からは、町の第 9 期介護保険事業計画がスタートしますし、介護サービスにかかる介護報酬の改定の年でもあります。全世代型社会保障を掲げる国の方針は、支え合いにかかる給付を充実させる一方で、高齢者にも応分の負担を求める厳しい内容となっております。

医療・介護・福祉を担う限られた人材の中で、2024 年は求められるニーズにどう応えていくか社会福祉法人としての真価が問われる年でもあります。

町、地域の医療や福祉事業者との連携を密にしながら、やすらぎ会のサービスが利用者にとって心地よい場所となるよう職員一丸となって努めて参ります。

今後とも、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸をお祈りし新年の挨拶とさせていただきます。

令和 6 年 元旦
 社会福祉法人やすらぎ会
 理事長兼総括施設長 佐々木 一

新春福笑い & 書き初め



〔11月〕		〔12月〕	
4日	菊池キサさん百歳お祝い ホーム喫茶 特養第三者委員現場調査	5日	出張理容
7日	出張理容	7日	在宅第三者委員現場調査
9日	入所検討委員会	18日	出張理容
12日	家族会窓拭き・研修会	19日	デイぶな運営推進会議 嚥下機能改善調査
15日	広報やすらぎ発行	22日	クリスマスメニュー クリスマス忘年会
20日	出張理容	23日	特養第三者委員現場調査 かたくり忘年会 (25日まで)
24日	かたくり第三者委員現場調査 在宅家族懇談会	31日	大晦日 年越しメニュー
28日	お寿司の日 介護の魅力促進出前講座		

あしあと 法人の主な動き

やすらぎ会ホームページ 最新情報更新中!!

右のQRコードを読み取れば、スマートフォンでも簡単に閲覧できます。ぜひのぞいてみてくださいね♪



<http://yasuragikai.com/>

令和5年11月1日～12月31日

【ご寄付】
 ・高橋 祥子 様

【ご寄贈】
 ・西和賀町婦人連絡協議会 様
 ・匿名 様
 ・黒淵 富子 様
 ・佐々木アキ子 様

【ボランティア等】
 ・ぶなの園家族会 様
 ・新町保育所 様
 ・川舟保育所 様
 ・沢内民舞同好会 様
 ・カトレアの会 様



コロナ禍でしばらく実施できなかった家族会窓拭きボランティア。11月12日に数年ぶりに居室まで入っていただき、ベッド周りの整理をしながら作業していただきました。さらに廊下や共有スペースの窓まで、脚立を使いながらピカピカに。ご家族との会話を楽しみながら作業を見守る入所者の方々の表情も、パッと明るくなったようでした。



作業する家族に感謝しながら

あたたかい善意を頂戴し厚くお礼申しあげます

- 特別養護老人ホーム ぶなの園
- デイサービスセンター ぶなの園
- ホームヘルプステーション ぶなの園
- 西和賀介護相談室
西和賀町沢内字太田2地割135番地
電話0197-85-2322 FAX0197-85-2317
E-mail bunanosono@swc-yasuragikai.or.jp
- 高齢者生活福祉センターかたくりの園
西和賀町沢内字大野17地割140番地1
電話0197-85-3388 FAX0197-85-3389

【発行・編集】社会福祉法人やすらぎ会 広報委員会

編集後記

最近、飼っている猫が足に飛びついて噛む事が多くなった。気になって調べると、獲物に見えてそういう行動をすることがあると。去年二回ほどネズミをくわえている姿を思い出した。私の足で狩りの練習をするのはほどほどにしてほしい。

やすらぎ会広報委員会
 神 信行 佐々木典子
 高橋 正広 柴田 望

自宅入浴のお手伝い

ホームヘルパーは利用者さんのお宅での入浴介助も行っています。まずは血圧と体温を測定し、体調に問題がないことを確認してから浴室へ。洗髪・洗身のあと、ゆっくりと湯舟に浸かりながら、昔話や色々なお話を聞かせていただくこともあります。浴後は身体も気分もすっきりされた表情が見られ、ご家族からは「湯っこさ入れでもらってる間に他の仕事ができる」との声をいただいています。安全な入浴により清潔を保持することは大切であり、ヘルパーがそのお役に立てていることに喜びとやりがいを感じます。また、家族以外の人とのコミュニケーションという意味でも大事な時間になっているようで、私たちヘルパーにとっては、人生の先輩からの貴重な学びの時間です。

ホームヘルプステーションぶなの園



ピタリ賞まであと8g

ぶなの園入所前、ワークステーション湯田・沢内に通所されていた大島勝見さん。「久しぶりにワークに行ってみよう」との希望が叶い、11月17日のワークステーション収穫祭に参加させていただきました。到着すると、勝見さんを取り囲むように利用者の皆さんがどっと集まり大歓迎。喜びと照れくささが入り混じった表情がありました。ホールでは収穫を祝う餅つきが行なわれ、それを見ている間も多くの方々が話しかけてくれました。ゲームには勝見さんも飛び入り参加し、その場で設定された重さになるように分量でジャガイモを袋詰め。結果は僅差で第2位、大健闘です。手作りパンのお土産もいただき、また会いに来ることを約束して帰ってきました。ワークの皆さん、本当にありがとうございました。

「辰」をお花紙で制作

かたくりの園では毎年新年に向けて、年末から新しい干支の貼り絵を制作しています。今年は十二支の中でもただ一つ、空想上の動物である「辰」に挑戦しました。利用者の方々にはいろいろなカラーのお花紙を丸めていただき、貼り絵の基礎となる大事な作業をお願いしています。「ほう、まだある」と言いながらも、ボールの大きさを気にしながら一生懸命取り組んでいる姿が印象的でした。出来上がった作品をホールに飾ると「今年1年良い年でありませうように」と手を合わせる方もいらっしゃいました。



今年の干支も見事な出来栄

デザイナーピスがかたくりの園

新年交賀会 2024

餅つきで賑やかな幕あけ

「威勢のいい催しで初春を慶び合いたい」そんな思いから、今年の新年交賀会のメインは「餅つき」をやることに！。倉庫に眠っていた臼と杵も、突然のご指名にびっくりです。1月4日、交流スペースで2回に分けて実施。なにしる15年ぶりになるので段取りも手探りに近い状態で始まり、最初は職員が奮闘する姿を応援していただきました。2回目は補助をつけてから利用者の皆さんも参加。ヨイショ、ヨイショのかけ声に合わせて、楽しそうに杵を振り下ろす姿がありました。ミヤンマーとインドネシアからの特定技能職員も餅つき初体験。そして盛り上がったのは、



親子による餅つきは息ぴったり

石川進介職員と、入所している母親のナカさんによる親子共演でした。母が「合いどり」を務め、息子がつく合間に手際よく水をつけたり餅を返したり。その手つきがなめらかで、職員も驚かされました。やっぱりお正月の餅つきは盛り上がるなあ〜と実感した新年交賀会でした。



利用者の皆さんも笑顔で参加

会場を魅了する多彩なステージ クリスマス忘年会



園児たちの躍りにうっとり

令和5年を締めくくる恒例のクリスマス忘年会が12月22日に開催され、多彩なステージが会場を魅了しました。まずは新町保育所の園児の皆さん。数年ぶりに出演をお願いすることができ、元氣な踊りや歌を間近で見せていただきました。サンタさんからプレゼントをもらって喜ぶ姿も、とってもかわいかったです。次のステージはぶなの園のデザイナーピスに通う石井勝也さん。リズムよく太鼓を打ちながら唄う「沢内甚句」は爽快で、やはり達



ミヤンマーの歌を熱唱

人はいくつになっても達人でした。最後はミヤンマーの特定技能職員3名のステージ。母国の有名な歌とダンスを、美しい衣装で披露してくれました。どこか懐かしいような、心が穏やかなる曲調で、会場からは大きな拍手。それぞれ違った味わいのステージを堪能していただくことができたと思います。



見事なバチさばきの石井勝也さん